

令和8年度 島尻（しまじり）特別支援学校 校長あいさつ

幼児児童生徒の皆さん、保護者等の皆様、地域の皆様をはじめ、本校のホームページをご覧頂いているすべての皆様、本校ホームページにアクセスしていただきありがとうございます。

島尻（しまじり）特別支援学校（とくべつしえんがっこう）は、豊かな自然に囲まれた沖縄南部（島尻群）の中心地にあります。就学区域は南風原町、豊見城市、糸満市、南城市、八重瀬町、西原町（中頭郡）、与那原町とともに広範囲にわたり、本年度の在籍は、325名となっております。

本校は、知的障害及び肢体不自由のある幼児・児童・生徒の教育に取り組む特別支援学校で、幼・小・中・高等部があり、寄宿舎も設置しています。昭和54年4月に島尻地区の知的障害教育を担う学校として開校し、平成23年度から肢体不自由教育を併設するなど、46年の長い歴史とともに歩んでまいりました。

本校では、校訓に「1. 自愛 2. 友愛 3. 博愛」を掲げ、日々の学校生活の中で「1. 自分のことを好きになること 2. お友達のことが応援できること 3. みんなのためにできることを増やすこと」という願いを大切に教育活動を進めています。

令和8年度の本校教育における「知・徳・体」の育成として、「知」は自ら考え、表現する子（自己選択・自己決定・自己責任）、「徳」は心優しく、思いやりのある子（道徳心、公共心、自律心）、「体」は身体を鍛え、粘り強い子（社会に出る体力、精神力、持久力）を目標としています。幼児児童生徒一人一人の将来の「自立・社会参加」を目指し、「学校の主人公は一人一人の子どもである」という考えのもと、子どもを中心に据えた教育実践に努めてまいります。

幼児児童生徒の皆さんへ

先生たちは、チーム島尻として、皆さん一人一人を大切に応援します。

「島尻で勉強することが楽しい」「島尻に行くことが楽しい」「島尻で自信がついた、強くなった」と実感できるような授業づくりに、取り組んでいきます。

保護者等・地域の皆様・関係の皆様へ

本校職員は、各学部間の学びのつながりや連続性・系統的な教育方針のもと、幼児児童生徒の主体的な学びや自己表現・表出ができる授業づくりを進めてまいります。友だちや教職員、保護者の皆様と関わりながら、「知・徳・体」を育み、共に成長していくことを目指します。

また、令和3年度から県立真和志高等学校内に分教室「ゆい教室」を設置し、沖縄県におけるインクルーシブ教育システムの構築に向けた取組を進めています。特別支援学校の学習指導要領を基本とした学びと連携協力学級との交流及び共同学習を通して、高等学校での重度及び中度の知的障害教育の在り方について県教育委員会の検証事業に取り組んでいます。

保護者等及び地域の皆様、県教育委員会並びに関係機関の皆様におかれましては、本年度も本校教育への御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。今後とも、幼児児童生徒の成長を温かく見守っていただきますよう、よろしく願いいたします。

令和8年4月

沖縄県立島尻（しまじり）特別支援学校
校長 岡越 猛（おかごし たけし）